Ⅳ　工夫と連携で産業が躍動するまち

農業委員会運営事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○農業委員会運営事業　　862万円

農業委員会とは、「農業委員会等に関する法律」に基づいて市町村に設置が義務づけられている行政委員会です。農業者の代表者が委員として構成されていて、主な業務は、毎月農業委員会総会（会議）を開催し、農地法に基づく許可申請、届書等の審査や、農地と農家の実情把握、農家相談、農地の利用・権利関係の調整・あっせんを行っています。

1. 農業委員報酬（15名）　　560万円

2. 臨時職員賃金（1名）　　161万円

3. 旅　費　　62万円
　毎月開催される農業委員会総会や、農地の調査およびパトロール等における委員への交通費です。

4. 会長交際費　　1万円

▲農地パトロールの様子

5. 需用費　　38万円
　農業者年金の普及推進用のパンフレットや認定農業者への情報提供活動としての農業新聞購読料です。

6. 役務費　　16万円
　農業委員選挙人名簿登載申請書、遊休農地意向調査票、農業者年金案内の郵送料です。

▲認定農業者等との意見交換会の様子

7. 委託料　　15万円
　農地等総合管理システム保守・機器保守の委託料です。

8. 各種負担金　　9万円
　沖縄県農業会議負担金、南部地区農業委員会会長会負担金、沖縄県農業委員会等職員協議会への負担金です。

農業促進に係る経費

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○農業促進に係る経費　443万円

農業の促進・振興のため県内の各種協議会等に対して負担金を支払っています。

主な負担金の支出先

1. 沖縄県園芸農業振興基金協会負担金　88万円
2. 南部地区農業用プラスチックリサイクルセンター負担金　132万円
3. 農業共済事業運営負担金　58万円
4. 南部地区さとうきび生産振興協議会負担金　47万円
5. その他負担金及び出資金　118万円

野菜振興対策事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○野菜振興対策事業　93万円

1. かぼちゃ出荷量競作会報償　2万円

県の拠点産地認定を受けたカボチャの更なる生産向上をめざすとともに、農家の生産意欲を高めるため町内の優良農家を表彰します。

↓みつばち放飼式

2. 野菜病害虫防除事業　5万円

野菜生産農家に対し、野そ(ねずみ)防除農薬補助を行っています。

3. かぼちゃ実証試験　13万円

南風原町の拠点産地品目である「かぼちゃ」の増産に向け、さまざまな実証試験を行い、新たな栽培技術の確立に取り組んでいます。

4. みつばち交配委託料　63万円

広範囲に渡るかぼちゃの受粉作業を従来の手交配に加えミツバチの交配を導入することで、手の行き届かない範囲まで受粉させ、かぼちゃの増産を図っています。

5. 農業生産・経営対策　10万円

担い手育成事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○担い手育成事業　15万円

町内に住所を有する新規就農者または認定農業者等と、存続期間が5年以上の利用権又は賃貸借権の設定を行った者に補助金を交付し、農業の担い手の育成・確保農地の有効活用を図っていきます。

主な経費　農地流動化補助金　15万円

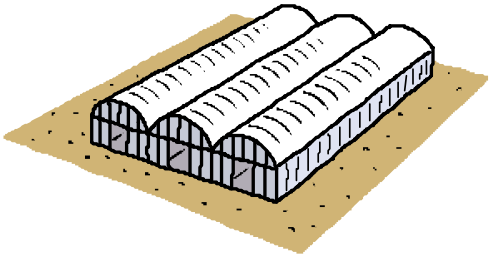
経営構造施設等整備事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

〇経営構造施設等整備事業　　**1億1，449万円**

強い農業づくり交付金を利用して、収益性の高い農業用施設（ハウス）を導入し、農家の所得向上と担い手の育成、認定農家への農地の集積をはかっていきます。

農業用施設（ハウス）の施設整備補助を行います。（国県補助75％　、町5％補助）



経営構造施設等整備附帯事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

〇経営構造施設等整備附帯事業　　**238万円**

強い農業づくり交付金の農業用施設（ハウス）を導入する農家に、栽培講習会、簿記講習会、視察研修等の事業を行い、技術の向上、よりよい経営感覚を養ってもらうため事業を行います。

主な経費

臨時職員賃金	161万円	講師謝礼金等	5万円
先進地視察研修補助金	52万円	職員視察研修同行旅費	9万円
消耗品費等	11万円	（2／3国補助、1／3町負担）	

▲簿記講習会の様子

▲視察研修の様子

熱帯果樹振興対策事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

〇熱帯果樹振興対策事業　　**200万円**

マンゴー等の熱帯果樹振興を図るため、50本以上の苗木の購入に対して、1本あたり30％以内の補助を行います。

さとうきび振興対策事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○さとうきび振興対策事業　　99万円

1. さとうきび競作会報償　　7万円

さとうきび生産農家の意欲の高揚による生産振興を進めるため、生産技術及び経営改善の面で創意工夫した優良農家を表彰します。

※南部地区さとうきび競作会において、南風原町の農家宮城清喜さん（春植え部門）が南部地区代表に選ばれました。

▲受賞者の宮城清喜さん

2. さとうきび生産見込み調査費　　5万円

県の委託をうけて、収穫面積、収量、糖度等の見込み調査を行ないます。

3. 病害虫防除事業　　30万円

農作物の病害虫を防除するため、農家に対して必要な薬剤の購入に要する費用の一部を補助しています。

主な経費

・さとうきび野そ（ネズミ）駆除にかかる経費　　18万円
　経費の負担割合（町が30%、翔南製糖（株）が20%、農家が50%）
・さとうきびガイダー（カンシャコバネナガカメムシ）駆除にかかる経費　　12万円
　経費の負担割合（町が30%、翔南製糖（株）が20%、農協が25%、農家が25%）

4. さとうきび種苗ほ設置委託事業　57万円

基幹作物であるさとうきびの生産の安定と品質の向上及び奨励品種の普及促進を図るため、農家へさとうきび種苗の管理育成を委託し、育成したさとうきびの苗を生産農家へ供給する事業です。

※生育した苗は、生産農家へ無料配布されます。

農業団体育成強化

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○農業団体育成強化　　75万円

農業団体の上部組織である普及事業連絡協議会が事業を運営するための補助金です。

主な経費

普及事業連絡協議会補助金　　75万円

◆◆ チェックポイント ◆◆

普及事業連絡協議会は、農業青年クラブ、農業生活研究会、農友会、生産部会の上部団体で、農業の振興及び農家生活の改善に必要な研修・情報交換並びに各農業団体相互の連携を図ることを目的にしている団体です。

▲けた下ふれあい市場の様子

▲平成21年度総会の様子

ビニールハウス設置事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○ビニールハウス設置補助金　　50万円

風水害を避け、収益性の高い作物への転換や生産拡大で安定した農業所得を得るために鉄骨・パイプ等のビニールハウスを設置した農家に対して、経費の10％以内で補助を行います。

主な経費

ビニールハウス設置補助　50万円

平成21年度に補助を受けて設置したﾋﾞﾆｰﾙﾊｳｽ

地力増強対策事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○地力増強対策事業　　568万円

農産物の生産を増やすため土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くするための事業です。本町では、農家が農協から堆肥・緑肥種子を購入する際に、その費用の一部を補助しています。

主な経費

堆肥購入　　500万円

※一袋（15kg）に対し50円の補助

緑肥種子の購入　　8万円

緑肥ひまわり　　60万円

▲緑肥用で植えられたひまわり

畑地かんがい井戸設置補助事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

〇畑地かんがい井戸設置補助金事業　　36万円

畑地の利用を高めるとともに、作物の増産をはかるため、畑地かんがいのための井戸を設置した団体または個人に対して、経費の30％以内で補助を行います。

主な経費

畑地かんがい井戸設置補助　　36万円

平成21年度に補助を受けて設置された井戸

農地深耕・荒廃地解消事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

〇農地深耕・荒廃地解消事業　　60万円

農業者が農用地内の有効利用を図るため、荒ぶ地・遊休農地を深耕した団体または個人に対して補助を行います。

主な経費

農地深耕・荒廃地解消補助金　　60万円

▲遊休農地

畜産公害・環境保全対策事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

〇畜産公害・環境保全対策事業　　139万円

畜産農家において、悪臭を押さえるとともに畜舎等の消毒を行い、病害虫の発生を防ぐための薬品購入経費に対し、一部補助を行います。

主な経費

悪臭公害処理薬品代（町1／3負担）　68万円

消毒及び殺虫剤代　71万円

家畜伝染病予防事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○家畜伝染病予防事業　　75万円

家畜（豚・牛）の伝染病の予防注射を行うための経費です。

主な経費

家畜伝染病予防注射・証紙代　　75万円

牛の予防注射の様子

重点分野雇用創造事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○耕作放棄地再生利用緊急対策事業　　161万円

耕作放棄地は、食糧自給率の問題を始め、病害虫、鳥獣被害の発生・拡大、農地利用集積の阻害、水利施設管理への支障といった営農面での悪影響、さらには、廃棄物の不法投棄、景観の悪化等、地域住民の生活環境面等において大きな課題となっています。南風原町では地域耕作放棄地対策協議会を設立し、耕作放棄地を解消し認定農業者が耕作する事により、農地の有効利用を推進しています。

主な経費

臨時職員賃金（1名）　　161万円

耕作放棄地の実態調査、地主への意向調査、再生利用実施等の業務を行います。

平成21年度に解消した耕作放棄地

▲　解　消　前

▲　解　消　後

宮城地区畑地かんがい排水等整備事業

（担当：経済建設部 都市整備課　課長：真境名元彦）

〇宮城地区畑地かんがい排水等整備事業　　3，032万円

1．事業概要

本地区の農業経営は、野菜・サトウキビを主体とし、ハウスによるキュウリ・ニガウリ等の栽培に転換が図られつつある畑作地域です。以前に畑地かんがいが整備された地区でありますが、パイプラインや水源・配水施設の老朽化により破損等が頻繁に生じ、営農に多大な支障をきたしています。そこで畑かん再整備を導入し安定的な農業経営の確立を図るものです。

2．今年度の事業内容

今年度は、排水路の工事及び暗渠排水の実施設計を行います。

宮城地区排水路工事	2，111万円
宮城地区暗渠排水等整備設計委託料	891万円
事務費	30万円

財源内訳：国補助80％、県補助11％、町費9％

▲宮城地区の現況写真

3．地区概要

①受益面積：21．6ha

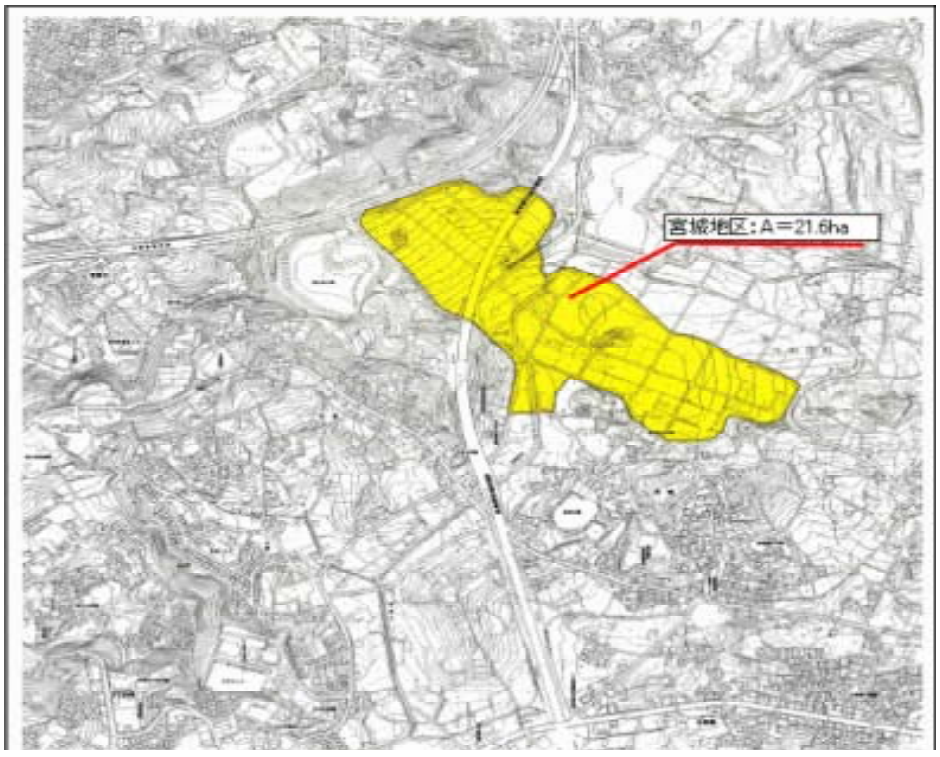
②受益戸数：116戸

③主要工事：農業用用排水施設・暗渠排水(1，178m)

ファームポンド1基、幹線支線管路、給水栓(170基)

④工　　期：平成21年度～平成25年度

⑤位 置 図



労働者・退職者等支援事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○労働者・退職者等支援事業　　1，353万円

町単独事業による緊急雇用創出事業として、町内に在住している求職者を対象に作業員を雇用し、就業機会の創出を図ります。今年度は8名を採用し、道路・公園・河川・生活排水路等の清掃作業を行っています。

また、沖縄における駐留軍等労働者の離職者対策事業等へ出資をしています。

主な経費

緊急雇用作業員賃金	1，338万円
沖縄駐留軍離職者対策センター補助金	14万円
（社）沖縄県雇用開発協会補助	1万円

共同福祉施設運営事業

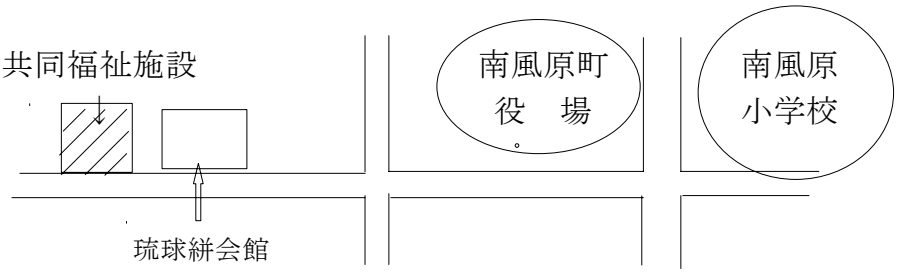
（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○共同福祉施設運営事業　　223万円

南風原町共同福祉施設は、町内に住む勤労者及び町内商工業者、地域住民の福祉及び健康増進を図るため、諸サークル活動や会議・研修のできる施設です。町商工会が指定管理を受け、施設の管理運営を行っています。

主な経費

南風原町共同福祉施設指定管理委託料	175万円
施設修繕費	48万円



※南風原町共同福祉施設利用に対する問い合わせ　TEL889－6889

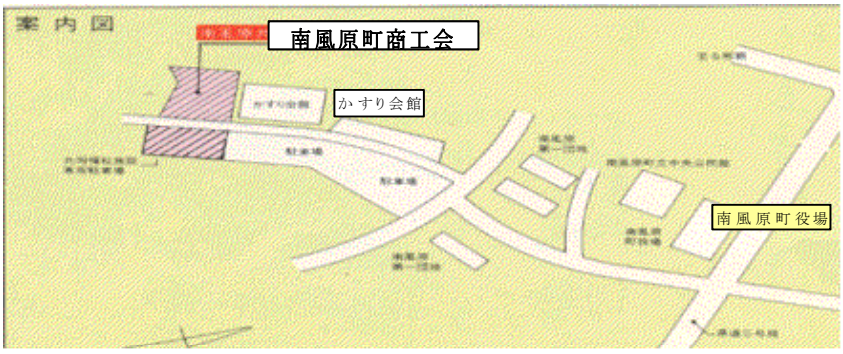
商工会の育成強化

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○商工会の育成強化　　**1，756万円**

1．南風原町商工会補助金　756万円

商工会は、地域の商工業の振興と住みよい地域づくりため、町内の商工業者によって組織された総合的経済団体です。指導団体として、その地域内にあるすべての商工業者について、公正な立場から地域商工業の総合的な改善や発展を図り、社会一般の福祉の増進に取り組んでいます。活力ある魅力的なまちづくりに寄与している町商工会に対し、町も補助金を交付しています。



南風原町商工会の主な仕事

■金融相談：中小規模企業にとって事業資金の確保は、経営上一番重要な問題です。融資を申込む際、依頼する適当な保証人がいないうえ、自己の担保能力も乏しいというのが実態です。そこでこのような経営基盤の弱い小規模企業のために、国や県などの、低金利で安心して借りられる各種融資制度の利用相談、指導を行っています。

■税務・経理相談：収入や支払い、税金などの記帳を正しく理解し、帳簿の数字に基づく近代的経営を推進していただけるよう、記帳から決算まで一貫した継続指導を行っています。

■経営相談：企業の体質改善・経営強化などで困っている小規模企業の経営相談に乗り指導・助言を行います。

■労務相談：労働力の確保・定着のために、職場環境改善や就業規則、給与規定の作成指導など、その他社会保険・労働保険の事務手続きについてのご相談にも応じています。

■創業支援・経営革新支援：新規に事業を始めようとする人に対する事業計画及び融資の相談又、現在の事業拡大や新たな事業を創出するための相談・指導を行います。

2．南風原町商工会貸付金　1，000万円

南風原町商工会は、国、県、町の補助金や会員による会費などで事業運営を行っています。しかし、補助金や会費は全額が年度始めに入ってくるわけではありません。事業を運営するためにもまとまった資金が必要であり、その間の運営資金として町商工会へ貸付を行います。なお、貸付金は、年度末に全額町に返金されます。

琉球絣等伝統工芸事業

（担当：経済建設部 まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○琉球絣等伝統工芸事業　　１，９８３万円

1．琉球絣後継者育成事業補助金　28万円

琉球絣事業協同組合が開講する後継者育成事業に対して補助しています。約半年間琉球絣のデザインや染色などについて研修し、研修終了後は各事業所で絣の織りの担い手となります。

※この事業には国、県も補助し琉球絣事業協同組合も負担しています。

・研修内容 ： デザイン、括り、染色等の総合的学習（技術者養成）
・研修期間 ： 平成22年7月１日～平成23年2月８日（土日祝祭日休み）

▲平成21年度後継者育成事業研修生の作品

▲平成21年度後継者育成事業研修生の皆様

2．琉球絣事業協同組合への補助金　342万円

南風原町の特産品である琉球かすりの振興を目的に、琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣事業、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助しています。

■琉球かすり会館／℡889－1634
■開館時間／月～土　9:00～17:30
日曜・祝祭日閉館

※琉球絣の反物、バッグ、ウェアーなども販売しています。お気軽に足をお運びください。

3. 伝統工芸ふれあい広場事業への負担金　21万円

沖縄県と沖縄ふれあい広場実行委員会が主催する、県内各産地の伝統工芸品を展示紹介し、需要の開拓、販路拡大を図る「沖縄工芸ふれあい広場」事業に対しての負担金です。「沖縄工芸ふれあい広場」は、年に1度（例年11月頃）開催しています。

町からは琉球絣の機織りの実技や反物、バッグ、ウェアー等の展示を行い琉球絣を紹介しています。

4. (財)伝統的工芸品産業振興協会費　5万円

伝統的工芸品産業振興協会では、伝統的工芸品の良さを広く国民に普及し需要開拓を推進するため、伝統的工芸品月間を中心とした各種事業をはじめ、コンクール展示会の開催の他各種媒体でのPRを実施するとともに、併せて産地の振興計画策定の指導、各種の調査研究、伝統証紙の発行等を行っています。

▲琉球絣で作ったコサージュ

5. 琉球絣事業協同組合への貸付金　1，500万円

琉球絣事業協同組合は、国・県・町の補助金と組合員の会費で組合を運営しています。しかし、補助金や会費がすぐには入ってくるわけではありません。その間の運用資金（生産者への製品（反物）代金支払い等）として貸し付けを行っています。なお、貸付金は年度末に全額町に返金されます。

6. その他　87万円

ふるさと博覧会で選出された琉球かすりの女王には、各種イベントへ出席して、南風原町と琉球絣のピーアールを行っています。

主な経費

琉球かすりの女王謝礼金及び研修費	9万円
琉球絣の女王ユニフォーム作成委託料・反物代	32万円
かすり会館施設修繕費	3万円
かすり会館施設工事費	43万円（アルミサッシ取付）

← 平成 20 年度のふるさと博覧会で選出されたミスかすりとミセスかすりの皆さん

沖縄県雇用再生特別事業（絣の未来プロジェクト事業）

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○沖縄県雇用再生特別事業（絣の未来プロジェクト事業）　577万円

南風原町の地場産業である「琉球絣」と「南風原花織」の育成発展と就労者の拡大を図る目的で、商品開発と販路拡大等を琉球絣事業協同組合へ委託します。沖縄県緊急雇用再生特別事業を活用して行います。全額、県からの補助金を充てて事業を実施します。

主な経費

沖縄県雇用再生特別事業委託料	577万円
〈委託料の内訳〉	
人件費（給与・社会保険等）	397万円
事務費	10万円
事業費（販路拡大・商品開発）	170万円

▲絣の名刺入れ、ネクタイ

重点分野雇用創造事業（絣の二次製品縫製者育成事業）

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　課長：赤嶺一男）

○重点分野雇用創造事業（絣の二次製品縫製者育成事業）　1，120万円

絣を使った二次製品（例：バック、ブックカバー、ネクタイ、名刺入れ、コサージュ等々）の小物加工縫製技術者・絣ウェア製造技術者の育成事業を琉球絣組合へ委託します。県の重点分野雇用創造事業を活用して行います。全額、県の補助金を充てて事業を実施します。

主な経費

重点分野雇用創造事業補助金	1，120千円
〈補助金の内訳〉	
人件費（給与・社会保険等）	774万円
研修費（講師謝礼・教材費）	228万円
機材リース代等	118万円

▲絣で作ったバック

ふるさと博覧会補助事業

（担当：経済建設部　まちづくり振興課　　課長：赤嶺一男）

○ふるさと博覧会補助事業　　800万円

今回第16回目を迎える「はえばるふるさと博覧会」は、これまで「誇れ！わが町みんなのふるさと」をキャッチフレーズに、町民が誇れる地域の重要なイベントとして位置付け、本町産業を一堂に集め、展示、販売をし、さらに地域の芸能や文化を広く内外にアピールするために開催してきました。平成16年度からは一年越しの開催となりましたが、そのことにより毎回「福祉まつり」や「児童館まつり」と同時開催となり、産業まつり、文化芸能まつり的要素に加え「ちむぐくるでつくる福祉のまち」づくりと生涯学習の気運を高めるためのイベントとして、さらに充実した内容で開催する予定です。本実行委員会に対しての町補助金です。

主な経費

第16回はえばるふるさと博覧会実行委員会補助金　　800万円

（第12回福祉まつり・第19回児童館まつり・ジャズin南風原含む）

～平成20年度に実施した、ふるさと博覧会の主な内容を紹介します～

●主会場（南風原小学校グラウンド）

農産物・商工業製品等展示即売、各事業所・団体・施設等バザー、夜店・パーラー等、親子陶芸コーナー、セラピー犬ふれあいコーナー、ボーイスカウト南風原第3団コーナー、鉄ごま・けん玉・ベーゴマ・竹馬・ヤットコ・将棋・たき火体験コーナー、スッパイマンのたね飛ばし大会、ぞうり飛ばし大会、鼓笛隊、エイサー、獅子舞、太鼓演舞、吹奏楽、町内保育園舞台発表、南風原高校創作舞踊、その他

●福祉まつり・児童館まつり会場（南風原小学校体育館）

社会福祉展示・体験コーナー、介護と予防コーナー、おとしよりものしりクイズ大会、その他

●絣まつり会場（町立中央公民館）

琉球絣・南風原花織展示即売コーナー、琉球絣の制作実演コーナー、掘り出し物市、織りの体験コーナー、琉球絣の女王コンテスト、琉球絣ファッションデザインコンテスト＆ファッションショー